

## 「公開授業（DVD 視聴）＆授業づくり」学習会の報告書

去る5月28日(火)に生涯学習推進センターにおいて、「公開授業のDVD視聴と授業づくり」の学習会を実施しました。前年度実施した市川伸一東京大学教授の教育講演会「習得における『主体的・対話的で深い学び』～教授と活動のバランスに配慮した授業づくり～」が好評で、DVDの視聴を希望する声が多かったことから、今回の学習会を企画し、授業改善への活用をテーマに実施しました。

「学力と学習支援の心理学『習得の授業デザイン』」をテーマとして、DVD教材で、教えて考えさせる授業づくりの意義について説明を受け、小学校教諭とのT.T.授業実践の紹介から、教授法の理論と実践を学びました。授業内容は、小学校5年の教材で、①算数は「合同」、②国語は『大造じいさんとガン』のあっぱれをまとめよう!」でした。

さらに、本県で「教えて考えさせる授業」を実践し、学力向上を図られた井口憲治教頭（松田小学校）に取り組みを紹介してもらいました。今後、井口先生の詳しい実践報告を改めて企画したいと思います。

また、DVDを借りて視聴することもできますが、他人との意見交換の中からより深い授業研究会が可能になるという考えで研修の流れを工夫したつもりです。どのような研修会になるか心配しましたが、10名＋センター職員という少ない学習会でも、深い学びがあったと思っています。研修会についても次の様なコメントをいただきました。国頭地区の先生方の授業を取り上げてみたいと思いました。

「開会のあいさつで、“言葉を理解させてからの授業”が重要という大切なことを教えて頂き、それからDVDを見て“考える”という時間を過ごしました。また、視聴後にグループワークで意見や感想を話すために“自分ごと”になったこと、研修（授業づくり）のポイントを、今日のこの研修で経験させて頂きました。研修の流れにも感謝しています。」「このような授業研のもち方が学校でもできると思いました。今後も、ぜひ、国頭地区の授業を取り上げてもらい、協議してみたいです。」

### ＜参加者の授業改善への活用策＞

○スキルも大切だが言葉を大切にしていきたい。「自分ごととして考える」この言葉を大切にします。  
○算数での「活動、教える、考える」を関連させて授業の組み立てを考えていきたい。国語でも色々な展開を知ることができた。  
「言葉」大切にしていきたい。



### ＜参加者の感想＞

- 「教えて考えさせる授業」ですべての児童にやりがいのある授業になると気づいた。学校にもって帰って、ぜひ取り入れてみたい。
- 問題解決に視点を当てがちですが、“考えるべきこと、考えさせること”の重要性を改めて感じました。
- 今回の研修を通して、私たち教員がしっかりと教えるために“定義を知っておくこと”、“何をどう教えるかをしっかり計画しておくこと”が大切だと感じました。
- 問題解決型の授業ばかり考えていた私にとって、教えて考えさせるは新しい発見となりました。用語を教えてから入ると、苦手な子も教えそうな気がしました。さらに応用問題まで解けると得意な子もやる気が続くのかと。「教えるところを組み立てて授業づくりをしたい」と思います。
- まずはやってみたいです。その後の課題や成果について校内研でも活かしていきたいです。
- 「教えることは悪いことではない！」これが、とても嬉しいです。いろんな型の授業があつていいと思いました。
- 市川先生のDVDだけではなく、実際に実践した井口先生のお話も聞けて良かったです。もっと詳しく聞きたかった。DVDで見た内容をまねして早速、実践してみます。